

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成29年6月15日 (2017.6.15)

【公表番号】特表2016-522092(P2016-522092A)

【公表日】平成28年7月28日 (2016.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-045

【出願番号】特願2016-514299(P2016-514299)

【国際特許分類】

B 2 3 F 23/04 (2006.01)

B 2 3 Q 7/04 (2006.01)

【F I】

B 2 3 F 23/04

B 2 3 Q 7/04 G

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月24日 (2017.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 3】

両方向矢印で図 8 に示されている通り、片持梁ブラケット 4 2 a、4 2 b、4 2 c は、被加工物用スピンドルの軸方向に心押し台柱に対して互いに単独で移動する能力を備えて構成されている。心押し台柱 4 1 と回転キャリア 5 9 との間の剛結合にも関わらず、この構成により、例えば、心押しセンタ 4 3 c を上昇させ、工具 6 8、例えば先行作業位置で粗く機械加工された被加工物の仕上げ用の研削ウォームを用いて、締付け装置 5 3（工具は図面に示されていない）および締付け装置 5 4 により保持されている被加工物を同時に機械加工することによって、図 7 の締付け装置 5 5 に連結されている被加工物の交換を可能にする。